

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

2016年度（前期）指定公募

「訪問看護ステーション等が開設する医療・介護の相談室づくり（3年計画）」  
完了報告書

《計画》

窓口の設置を村民に知らせるために、新聞折り込み、ポスター、村内放送等を利用する。

週3日、1日3時間から相談窓口に対応する人員を配置する。香風庵内と診療所両方を使えるようにし、利便性を高める。（来訪時、職員が移動する。）

移動手段を持たない村民への訪問相談を実現する。

《活動内容》

社会福祉協議会、真狩村役場、特別養護老人ホーム真狩羊蹄園に相談室開設の説明、協力を依頼

真狩村内チラシ折り込み、ポスター掲示、防災まっかりにて村内放送、医療法人野の花ホームページに窓口開設のお知らせを掲載

ヘルパー不在の状況に対し、夕食提供に関し調査提案

老人会総会において、通院、買い出し時の交通手段利用状況、運転免許所持についての聞き取りアンケート調査実施

その他、看護師情報交換・ネットワーク作りの会、学習療法地域交流会、地域ケア会議、担当者会議、真鶴会にも参加

週3日相談窓口に対応する人員を配置（香風庵、診療所を行き来した）

訪問相談を実施

《報告》

H28年9月～H29年2月の相談件数 6件（中間報告の通り）

H29年3月～H29年8月の相談件数 27件

(1) 隣人より「人間関係がうまくいかず皆が遠ざかっている」との話あり。ケアマネを介し調整をはかる。

(2) 認知症急性増悪、未治療の患者さんの相談あり。内科医、脳外科医、保健師、ケアマネ等参加してもらい診断、介護保険導入に結び付ける。

(3) 認知症同士の介護状況から暴力行為が発生。多職種連携の上、調整をはか

る。

(4) 入所中の家族より相談あり。入所先で十分なリハビリが受けられていない由。外泊中のリハビリ受診へつなげる。

(5) 通院が中断した夫につき相談あり。抗てんかん薬を服薬しなくなっている状況。保健師も介入しながら調整をはかる。

(6) 大腸がん肝転移末期の方の処遇の相談あり。ホスピスを希望せず、在宅をメインに内科医と調整をはかる。

(7) 拒食症の患者さんの家族内調整をはかる。

(8) 独居の方の家族来訪し、将来への相談あり。ケアマネージャーへつなげる。

(9) デイサービスの見学希望あり。デイへ紹介す。

(10) 認知症であるが、ボランティアの希望あり。香風庵のボランティアへつなげる。

(11) 認知症独居者の家族が遠方より来訪。内科医より状況報告をお願いします。

(12) 視力低下、盲導犬申請の問い合わせがあり、内科医より診断書作成となる。

(13) 肺癌診断者につき相談あり。内科医と告知の相談に結び付ける。

(14) 独居であり、家族来訪時、相談あり。ケアマネージャーに連絡する。

(15) ボランティアの相談を受ける。

(16) 外に出たがらないと家族より相談あり、ケアマネージャーに連絡。訪問看護開始となる。

(17) 介護者より認知症が進行していると相談あり、入院となる。

(18) 介護保険サービスを使っていない方の家族より入浴サービス利用希望の相談あり、居宅介護支援事業所に連絡。デイサービス利用開始となる。

(19) 家族よりリハビリが必要であるが、外出したがらないと相談あり。ケアマネージャーに相談、デイサービス開始となる。

(20) もう少し動けるようになりたいと相談あり。介護保険申請依頼し、デイケア開始、デイサービス開始となる。

(21) 筋力をつけたいと相談あり。デイケア開始となる。

(22) 服薬自己管理できないと相談ありケアマネに相談。訪問看護開始となる。

(23) 家族より腰痛、歩行困難との相談あり。デイサービス、くもん開始となる。

(24) 認知症で排便コントロールができないと相談あり、訪問看護開始となる。

(25) ターミナルの方、退院後の在宅生活の方法の相談あり。

(26) 家族より施設入所について相談あり。ケアマネージャーに相談する。

(27) 通院方法について家族より相談あり、社会福祉協議会へ紹介する。

※多くのケースが家族、本人が診療所の医師に相談し、その後相談室へ相談さ

れている。そして相談室からケアマネ、各居宅介護支援事業所へつないでいる。

《感想》

人口 2,000 人の村であり、相談件数はなかなか増加していないのが現状である。とはいえ、1つ1つの事例に対し、医師、看護師、ケアマネ、保健師、様々な立場から深く対応する事が出来たと考えている。また、毎月の高齢者サービス連携会議等、地域全体での情報共有が問題、課題の早期解決につながったと思われる。

相談窓口は村内にある包括支援センターよりも、より住宅街に近い事もあり、利便性が良く、歩いて来訪する相談者が多かった。訪問も数件行う事が出来た。今後は相談窓口の存在を認知できない人へも積極的に声掛けをしていきたい。

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成による研究報告書

申請者：千葉佳代

所属機関：医療法人野の花介護プランセンターレラ

提出年月日：H29年8月31日

# 医療・介護の相談窓口開設のお知らせ

医療法人野の花 では、真狩村在住の皆様が利用できる  
医療や介護の相談窓口を開く事となりました。

介護保険について、病気や薬の事、食事や運動・リハビリテーションについて、認知症や在宅の看取りについて等々、医療、介護に関することならどんなことでも、幅広く御相談下さい。

即答出来ない問題も、時間をいただき、各専門の方々からアドバイスをいただき、対応させていただきます。

相談ご希望の方は、お電話にて日時の予約をお願いいたします。

開設 場所：① 野の花診療所  
② 香風庵（社にあるデイサービス施設内）

時 間：月・水・金 9：00～12：00

相談 担当：看護師、ケアマネージャー、医療事務

予約先：野の花診療所 渡邊（☎ 0136-48-3270）

費 用：無料

